



全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集:全難聴事務局
電話:03(3225)5600
FAX:03(3354)0046
URL:<http://www.zennancho.or.jp>
E-Mail:zennancho@zennancho.or.jp

↑ 平成27年度第1回通常総会開催（6月20日）

平成27年度第1回総会が戸山サンライズにて開催されました。

決議事項は以下のとおりです。

- 【第1号議案】平成26年度事業報告
- 【第2号議案】平成26年度決算書承認
- 【報告事項】
- 【その他】

57加盟協会に出席をもとめ、37協会の代理を含む代表者の出席と18協会からの委任状提出により総会は成立しました。

議長には、山形県協会の東海林会長。副議長には奈良県協会の出口会長がそれぞれ、総会の午前、午後の進行を務めました。

平成26年度事業報告の前に、新谷理事長より国が進める制度の方向性や、現在のそれを取り巻く情勢について説明が行なわれました。

先月号でも、総務省、厚労省へのヒアリング対応、意見書提出についてはご案内しましたが、総会では各行政機関等が定める「対応要領」や各主務大臣が事業分野ごとに定める「対応指針」の基本となる議論が進んでいる差別解消法、総合支援法への全難聴の取り組みについて説明しました。

各協会の会報でもすでに告知されていますが、聴覚障害者認定でのABR検査に関しては、年金申請時の負担になる可能性を説明しました。

全難聴の財政面で急務となる「公益目的支出計画変更申請」について理事会決議の報告がなされました。

第1号、第2号議案は承認され、その後今年度の事業計画にからみ、販売品の実績、機関誌購読者数数などの説明が行なわれました。

続いて、その他事項は、理事の人事についての提案です。

副理事長を1年間務められた工藤副理事長が自己都合により辞任されました。

全難聴定款22条の定めにより理事は15名以上20名以内となっています。現在の理事は15名ですので、新たな理事を補充する必要が出てきました。理事会の提案で、山口県協会の信木会長の理事就任が提示されました。

総会参加者の信任投票により、信木会長の理事就任が承認されました。

その後、新谷理事長の提案によるフリー討議が行なわれ、参加者の皆様からの質問や意見が多数出され、地域協会の実情を踏まえた意見が出されました。詳細については今後になりますが、全難聴の次の懸案への対応を促す有意義なものとなりました。

最後に、代理参加も含めて総会初参加の方々のご挨拶をいただきました。

長崎県協会の野村様。秋田県協会の中川事務局長。新潟県協会の木間（このま）会長。大阪府協会の橋高（きったか）様。堺市協会の中川様。（発表順）

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

↑ JHF2015 ジャパン補聴器フォーラム2015 報告（6月5～6日） 於：都立産業貿易センター

事務局長 佐野 昇



開催の趣旨・目的としては「補聴器業界に携わる全ての者の知識・技能及び資質の向上を図るとともに、広く一般消費者、関係職種の方々に対して補聴機器の正しい理解と最新情報を発信することにより、難聴者の福祉に寄与し、補聴器の健全な供給体制の確立を目指す。」としてビエンナーレ（隔年開催）

JAPAN 補聴器フォーラム2015が都立産業貿易センター浜松町館 2F・M3・3F・4F を使って開かれました。今回は「全難聴セミナー」が設けられて90分間の持ち時間をフルに活用

して、新谷理事長のあいさつと「聞こえのハンドブック」発刊に関する講演、根間補聴医療対策部長を司会、コーディネーター役で瀬谷「きこえの健康支援センター」研究事業委員長、テクノエイド補聴器協議会委員・全難聴事務局長の佐野、中川良雄さん全難聴補聴医療対策部・認定補聴器技能者の三氏のパネラー発表と質疑応答があり、「きこえ」の問題に取り組む全難聴の活動に理解を深める機会となりました。

当日の全難聴セミナーは9:00開始という時間的なこともあり、M3会場が参加申込みいただいた方に分かりにくかったこともあり、開始を10分ほど遅らせました。

新谷理事長や司会コーディネーターの根間部長、パネラーに協力いただいて予定終了時間を3分ほど超過しましたが、大きな支障、混乱もなく進行もスムーズにできました。参加者は51名で全員が着席して落ち着いて参加ができました。初回のフォーラムではブースのみでしたが、装用者、利用者を代表して全難聴としてセミナーを開催できましたこと販売店協会に感謝申し上げます。また、会場や要約筆記・手話通訳・磁気誘導ループも配慮いただきましたこと、この場をお借りしましてお礼申し上げます。

また、閉会式の場で日本補聴器販売店理事長佐藤様より2日間のスタッフ・展示関係者を除く来場者は1320名ほどだったとの発表がありました。

2013年の時より来場者数は少なかったようですが、内容的には落ち着いた雰囲気で開催できたかと感じました。また、2017年の開催については主催側では明言を避けていましたが開催の方向で検討するとの事でした。



👉 きこえの支援センターアンケートについて

5月より丸紅基金による「難聴者の社会参加を 総合的に支援するシステム構築」事業の一環として、きこえの総合支援に関する意識調査（アンケート調査）を開始しましたが、6月11日に1094通の回答をもって終了しました。

ご協力くださったみなさまに心より感謝申し上げます。

この結果は、9月6日（日）に東京で行われる シンポジウムで発表します。後日、詳細についてご案内しますので、多数のご参加をお願いいたします。

全難聴理事長 新谷 友良

「難聴者の社会参加を総合的に支援するシステム構築」

委員会委員長 瀬谷 和彦

👉 情報コミュニケーション4団体連絡会（6月25日）

ろうあ連盟、盲人会連合、盲ろう者協会、そして全難聴の4団体による連絡会について以下新谷理事長の報告より要約し掲載します。

1. 内閣府障害者政策委員会の動き
 - ・ 情報アクセシビリティを含む4つのワーキングセッションを設けて、5、6月に集中的に議論をした。現在事務局案によるまとめ報告を進めている段階。
2. 厚生労働省社会保障審議会（障害者部会）の動き
 - ・ 総合支援法見直しに関する関係団体ヒアリングは40団体に対して実施（全難聴対応）。部会としての議論は7月7日より行なわれる。
 - ・ 盲人会連合は移動支援を求めている。盲ろう者協会は地方から個別給付化要望が出ていて、中央としては地域生活支援と個別給付の2本立てを求めている。
 - ・ 全難聴は意思疎通支援について個別給付化に反対。ろうあ連盟は理事会で検討の予定。
3. 内閣府実施の「障害者差別解消法対応要領対応指針に関する合同ヒアリング」について
 - ・ 7月に4回実施予定。対象団体は障害者政策委員出身団体のみが呼ばれているもよう。
 - ・ 「対応要領」は職員の服務規律のようなもの。「対応指針」は具体的なものとなる予定。
4. 厚労省実施の「障害者差別解消法対応要領対応指針に関する合同ヒアリング」について
 - ・ 8月5日、厚労省が独自に実施。約40の団体を呼ぶ予定。
 - ・ 全難聴をヒアリングに加えるように要望している。（4団体で連携）
5. 障害者雇用促進法関係
 - ・ 障害者差別解消法とは違って事業者であっても合理的配慮の提供は義務となっている。
 - ・ 事例集が発表されている。

関連ページ（厚生労働省改正障害者雇用促進法）：

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/shougai_shakoyou/shougaisa_h25/

👉 聴覚障害者制度改革推進中央本部拡大本部会議報告（6月24日）

総合支援法見直しや障害者差別解消法の施行に向けた取組みの情報交換がなされ、7月4日緊急学習会開催のスケジュールや内容等の確認がされました。

事務局長 佐野 昇

📌 理事及び専門部長の動き（6/1～6/30）

- 6月1日 内閣府ヒアリング（新谷）
- 6月3日 全国聴覚障害者情報提供施設大会シンポジウム（新谷）
- 6月4日 日本補聴器販売店協会総会（佐野）
- 6月5日～6日 補聴器フォーラム 2015（新谷、佐野、根間、瀬谷）
- 6月7日 高知県要約筆記研修会講師（新谷）
- 6月9日 SC35/WG6 分科会（新谷）
- 6月11日 MJC 音声認識ソフトデモ体験（川井、小川）
- 6月12日 富士通音声認識ソフトデモ体験（川井）
- 6月13日 全国要約筆記問題研究集会 in 福島（新谷）
- 6月14日 全国ろうあ者大会 in ぐんま（星野）
- 6月16日 情文センター要約筆記委員会（新谷）
- 6月17日 日本補聴器工業会意見交換会（新谷）
- 6月18日 障害者放送協議会総会（小川）
- 6月18日 郵便制度に関する「四者協議」（新谷）
- 6月19日 臨時理事会（理事）
- 6月20日 27年度通常総会（理事、専門部長）
- 6月24日 聴覚障害者制度改革推進中央本部拡大会議（佐野、高木）
- 6月25日 四団体連絡会（新谷、佐野）
- 6月26日 情報通信アクセス協議会総会（小川）
- 6月26日 JDF 企画委員会（佐野）
- 6月28日 とちぎ視聴覚障害者情報センター講師（新谷）
- 6月29日 JDF 幹事会（新谷）
- 6月30日 東京 2020 オリ・パラ協議会建築部会構造物・住設機器作業部会（小川）

6月末発行の「難聴者の明日」第168号ですが、都合により編集が遅れております。7月中旬ごろ発行予定でございますので、ご迷惑をお掛けして申しありませんが、何卒ご了解の程お願い申し上げます。

全難聴機関誌部

📌 事務局報告

- 6月1日 内閣府ヒアリング
 - 6月5日～6日 補聴器フォーラム 2015
 - 6月11日 MJC 音声認識ソフトデモ体験
 - 6月12日 富士通音声認識ソフトデモ体験
 - 6月19日 臨時理事会
 - 6月20日 27年度通常総会
 - 6月25日 四団体連絡会
 - 6月30日 全難聴だより No. 85 発行
- 《予定》
- 7月4日 聴覚障害者制度改革推進対策中央本部企画学習会
 - 7月4日 国際部会議
 - 7月15日 東日本大震災被災障害者支援本部会合
 - 7月25日 きこえのセンター委員会会議
 - 7月31日 第24回全国盲ろう者大会
 - 7月31日 全難聴だより No. 86 発行

■ 富士通 LIVE TALK デモ体験

東京都北区議会に導入された音声認識ソフトウェアのLive Talkについて。

川井理事と小川情報文化部長が、全難聴向けにセッティングをお願いして体験しました。今後の情報保障関連開発に大いに参考になりました。

ネパール支援のお願い（再掲）

全難聴はネパール支援として、補聴器用電池や筆談ボードの提供とともに復興のための寄付金を募集しています。ネパールの被災者への支援に、みなさまの温かいお心遣いをよろしくお願い申し上げます。本募金は8月31日まで受け付けます。

寄付金の送付先＜ネパール支援口座＞
ゆうちょ銀行

口座番号 00130-6-777333（店名：〇一九店（ゼロイチキユウ店））

口座名 一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

（社）全難聴・国際部

（8月31日まで受け付けます）

全難聴

理事長 新谷 友良

国際部長 瀬谷 和彦